FNIRSI

HT-P1A

ミニホットプレート
日本語取扱説明書（参考訳）

ご使用前に安全上の注意を必ずお読みください。

翻訳・編集：泰宕商事株式会社
参考訳 v1 / 2026-10-12

参照原本：HT-P1A／HT-P1B Mini Hot Plate User Manual V1.2。表紙は英語併記、本文1～15ページは中国語。モデル別PD対応を区別した日本語参考訳。

本書について

本書はメーカー原本をもとに、操作・仕様・安全上の注意を日本語で翻訳・整理した参考訳です。メーカー公式の日本語版ではありません。画面の文言、仕様、付属品が異なる場合は、実機の型番・ハードウェア版と対応するメーカー原本を確認してください。

メーカー原本の操作・仕様・安全注意を日本語で再構成した参考訳です。

構成

1. 安全・電源選定

2. 概要・仕様・各部

3. 定温加熱・電力設定

4. 温度プリセット・リフロー

5. システム設定・加熱設定

6. リフロー全設定・温度校正

7. 警報・長時間保護

8. ファームウェア更新・故障対策

9. メーカー情報・保証記録

1. 安全・電源選定

・DC入力とType-C入力はどちらか一方だけを使います。同時給電は損傷のおそれがあります。Type-CはPD対応電源に限定されます。

・DC給電の最大持続電力は150Wです。実際のアダプター出力に合わせ、設定の電源電力を選びます。能力より高い設定は電源の異常につながります。

・加熱中・使用後の高温の台面に触らないでください。やけどのおそれがあります。

・初回や長期保管後の加熱では軽い煙・においが生じ、一定時間の使用で解消すると原本は説明します。台面の軽い黄ばみ・汚れも原本で通常とされます。ただし異常が続く場合は使用を中止して相談してください。

・40W未満などの低出力電源では設定温度まで上がらない場合があります。対応する高出力電源へ変更してください。

・最高耐熱温度は350 ° Cです。最高温度で長時間空だきせず、使用終了・その場を離れる際は電源を切り、火災を防いでください。

・無断で分解・改造しないでください。子どもが触って加熱を開始しないよう、保管・使用場所に注意します。

2. 概要・仕様・各部

HT-P1はPID温度制御の小型ホットプレートです。定温加熱、温度プリセット、段階的なリフロー加熱、傾斜検出、過温度保護、ファームウェア更新、分離型構造を備えます。

> 本モデルのPD対応
> HT-P1AのType-C給電はPD2.0／PD3.0に対応します。両モデルの仕様を混同しないでください。PD対応だけで150W出力が得られる保証ではなく、電源・ケーブルと本機の入力範囲、電力設定を確認します。

項目	原本の値
入力	DC12〜28V。DC／Type-C同時給電不可
電力設定	30〜150W
温度設定	100〜350°C
加熱面	50×50mm
傾斜検出	20〜50°
待機消費電力	1.6W
温度安定性	±3°C（測定精度とは区別）
画面	1.44インチカラー
寸法／重量	約68.8×81.8×44.5mm／約157g

各部は加熱台面、左キー／戻る、右キー／確定、表示灯、画面です。表示灯は青が正常、赤が異常です。主画面は加熱、温度プリセット、リフロー、設定の4項目です。

主画面では左短押しが前の項目、右短押しが次の項目／下位へ入る・確定です。操作は画面の選択状態を確認して行います。メニュー階層での左右長押しは後章の操作表に従います。

3. 定温加熱・電力設定

加熱画面へ入ったら、開始確認で右OKを短押しすると加熱を開始し、左戻る短押しで前の画面へ戻ります。現在温度から設定温度へ上げ、到達後は定温を保ちます。昇温がタイムアウトすると主画面へ戻ります。

画面は現在温度、昇温／降温／定温の状態、目標温度、ファン状態、入力電圧、昇温経過時間、使用電力バーを表示します。ファン記号の点灯は回転中、消灯は停止です。

キー	通常の加熱画面	数値編集中
左短押し	前の温度プリセット	1減らす
左長押し	主画面へ戻る	連続して減らす
右短押し	次の温度プリセット	1増やす
右長押し	目標温度の編集へ	連続して増やす

T1／T2／T3の3つのプリセットを加熱中に切り替えられます。編集中は設定した無操作時間を超えると自動的に編集を終了します。

> 既定100Wのまま使わないでください
> 電源電力の工場設定は100Wです。例えば65W電源なら65Wまたは少し低く設定します。能力不足なら加熱中に再起動し、低すぎる設定では昇温が遅くなります。PD電圧のネゴシエーション中は加熱画面・温度校正画面にしないよう原本は注意しています。

4. 温度プリセット・リフロー

温度プリセット画面でT1／T2／T3をそれぞれ100〜350°Cの範囲で設定します。調整後2秒待つと自動保存します。メニュー選択中は左短押しで前、右短押しで次、左長押しで主画面へ、右長押しで編集を選びます。編集中は左／右短押しで±1、長押しで連続増減します。最下層メニューの無操作時間を超えるとタイトル欄へ戻ります。

リフロー段階	原本の動作
昇温	設定温度へ素早く昇温。時間終了かつ温度到達後に次へ。
保温	設定温度へゆっくり昇温。時間終了かつ温度到達後に次へ。
溶接	設定温度へ上げ、到達後に保持時間をカウント。定温を保ち、時間終了で次へ。

画面は3段階の温度・時間・進捗、現在温度を表示します。リフロー中は左長押しで主画面へ戻ります。その他の左右短押し・右長押しは原本の操作表で機能なしです。温度・時間は設定メニューで事前に設定します。

> はんだ・基板ごとの条件確認
> 原本のリフローは加熱曲線を模擬する機能です。既定の温度・時間がすべてのはんだペースト、部品、基板の指定条件に合う保証はありません。工程末尾の冷却制御詳細は原本に明記されていません。

5. システム設定・加熱設定

設定はSystem／Heating／Reflowへ分かれます。メニュー選択で左／右短押しは前／次、左長押しで上位へ、右長押しで編集を選択します。数値編集中は左右短押しで±1、長押しで連続増減します。無操作時間を超えるとタイトル欄へ戻ります。

システム項目	工場設定	設定範囲
明るさ	10	1〜10
音量	3	0〜10
温度単位	°C	°C／°F
言語	中国語	中国語／English
編集終了まで	2.5秒	1〜9.9秒
About	—	機器情報、工場設定への初期化
加熱項目	**工場設定**	**設定範囲**
電源電力	100W	30〜150W
120°C補正	0	-50〜+50°C／-90〜+90°F
220°C補正	0	同上
320°C補正	0	同上
傾斜角度	30°	20〜50°
加熱時間	5分	1〜30分
長時間保護	120分	30〜360分

加熱時間は1回の加熱操作の最大許容時間、長時間保護は連続加熱の保護時間として原本に記載されています。具体的な起算・リセット条件は詳述されていません。

6. リフロー全設定・温度校正

リフロー項目	工場設定	設定範囲
昇温温度	150 ° C	130〜170 ° C
昇温時間	80秒	60〜90秒
保温温度	170 ° C	150〜220 ° C
保温時間	120秒	60〜120秒
溶接温度	230 ° C	230〜260 ° C
溶接時間	130秒	30〜180秒

温度校正：1. 加熱画面で補正対象（120／220／320 ° C）の目標温度に設定。2. 到達して安定したら、適切な温度計で実際の台面温度を測定。3. 実測温度－目標温度で偏差を求める。4. Heatingの該当温度補正に「既存補正値＋偏差」を設定。5. 再び目標温度へ加熱して測定し、一致しなければ1〜4を繰り返します。

> 校正時の補足
> 測温器の種類、接触方法、安定待ち時間・校正精度の要件は原本に詳述されていません。台面の高温に注意し、根拠のない補正値を入れないでください。温度安定性±3 ° Cを絶対温度の校正精度と混同しません。

7. 警報・長時間保護

システム・センサー異常時は警告を表示して加熱を停止します。傾斜警報は角度が正常に戻ると加熱を再開し、その他の警報は設定画面へ戻ると原本に記載されています。

警報	原本の説明
加熱台未検出	加熱を停止し、警告画面を表示。取付け・接触を確認。
電圧低下	入力が動作範囲より低い場合、警告表示。
傾斜角度過大	安全範囲を超える傾斜で警告。角度が戻ると加熱再開。
高温	電源を抜いた時、台面が50°C超なら高温を警告。
長時間保護	連続加熱が設定時間に達すると加熱を一時停止。右確認で継続、左戻るで主画面。

警報解除後も高温です
傾斜が戻ると自動再開することに注意してください。表示消灯や給電を外したことだけで台面が安全な温度になったとは判断しません。50°Cの警報値も触れて安全という保証ではありません。

8. ファームウェア更新・故障対策

更新方法は2通りです。電源オフ時に左キーを長押ししながらUSBを接続する、またはUSB接続後に左・右を同時長押しして更新画面へ入ります。右短押しで更新画面を終了できます。Type-CデータケーブルでPCへ接続し、認識されたUSBドライブへ対応する公式ファームウェアをコピーします。完了後に自動再起動します。更新処理中に退出・ケーブル切離しを行わないでください。

症状	原本の対処
加熱／リフローで再起動	電源最大出力と設定電力を合わせる。65W電源に100W設定なら65W以下へ。
PDで5Vしか得られない	電源のPDプロトコル対応を確認。QCなど他方式だけの電源は非対応。
温度が上がらない	設定電力・電源能力を確認。原本は30Wでは約200°C、300°Cに届きにくい例を挙げる。
放置後に画面・灯が消える	静止後のスリープを確認。改善しなければ窓口へ。
給電しても起動しない	Type-C／DC給電を確認、改善しなければ窓口へ。
台面なし警告	台面の取付け・接触不良を確認。
初回の軽い煙・におい	原本は一定時間の加熱で解消する通常現象と説明。異常継続時は停止・相談。

9. メーカー情報・保証記録

メーカー：Shenzhen FNIRSI Technology Co., Ltd.。原本住所：深圳市龍華区大浪街道・偉華達工業園C棟西側8階。0755-28020752、support@fnirsi.com、business@fnirsi.com、www.fnirsi.cn。原本のGB 4706.55-2008表記を、日本の認証へ拡張しません。

原本の保証説明は販売日起算で、説明書どおりに設置し正常な環境・条件で使用した際の原材料・加工の欠陥を、保証条項に従い無償修理とします。保証カードは保管し、紛失時の再発行はありません。具体的な保証期間は本文に記載されていません。

有償修理の例は保証カード原本なし、不適合な設置・周辺付属品、不適切な使用・保管、無断分解・修理、保証期間経過。メーカー条件の紹介であり、泰宕商事の販売保証を新たに約束しません。

型番、数量、購入店名・連絡先・住所、請求書／注文番号、購入日、利用者名・住所・連絡先、故障内容を記録してください。

参照資料とお問い合わせ

参照原本：HT-P1A／HT-P1B Mini Hot Plate User Manual V1.2。表紙は英語併記、本文1〜15ページは中国語。モデル別PD対応を区別した日本語参考訳。

原本の製造元：Shenzhen FNIRSI Technology Co., Ltd.

メーカー資料：https://taigo-shoji.co.jp/manuals/fnirsi/ht-p1a-multi-ea5200490e38.pdf

製品・相談窓口：taigo-shoji.co.jp
お問い合わせ：support@taigo-shoji.co.jp

保証・初期不良対応は購入先の案内をご確認ください。原本にあるメーカー独自の保証延長、販売条件、広告表現は、泰宕商事の保証条件として転記していません。

原本との対応

原本の章・ページ	本書での扱い
中国語1〜3ページ	全安全、モデル別PD、全仕様・各部・灯。
4〜8ページ	主画面・定温・プリセット・リフローの全操作。
9〜10ページ	全設定の既定値・範囲、キーの全操作。
11〜13ページ	温度校正、全警告と自動再開、更新。
13〜15ページ・カード	全故障対策、メーカー保証・記録。